学校番号	3005

令和２年度　地理・歴史　科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　改訂版　日本史Ａ　人・くらし・未来（第一学習社）						
副教材等	地歴高等地図（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言語活動の充実や学習内容の確かな定着を図り、歴史学習にかかわる基本的な技能を高めて歴史的な見方や考え方が身つくように、諸資料を活用して歴史を考察し表現する学習を採り入れます。

歴史事象と現在の自分との結びつきを考える学習を通じて、歴史に対する関心や問題意識を高め、歴史を学ぶ意義を考えます。

近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連した主題を設定し、資料を活用して探求し、その解決に向けた考えを表現する学習です。

２　学習の到達目標

わが国の近現代の歴史を、世界史や地理との関連を重視しつつ、現代の諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、調べ考えることを重視して、歴史的な見方や考え方を身につけ、歴史的な思考力を育成し、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とするわが国の歴史に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、平和的・民主的な社会を形成する責任を自覚している。	歴史の展開から課題を見出し、わが国の生活・文化の特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。	わが国の歴史の展開と生活・文化の特色について基本的事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	レポート など	定期考査 レポート 発表 など	定期考査 レポート 発表 など	定期考査 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	私たちの時代と歴史	・私たちの時代 ・私たちの身近なところから歴史を考えてみよう	○ ○	 ○	 ○	○	a:身近な事柄を通じて歴史的展開に対する関心・課題意識を持ったか。 b:課題を見出し、歴史的・多面的に考察・判断し、その結果を適切に表現しているか。 c:有用な資料を適切に選択・収集活用できたか。 d:自分自身の経験と関連させながら身近な社会の変化を理解したか。	授業態度 課題提出
	近代国家の形成と国際関係の推移	・近代への胎動 ・明治維新 ・近代国家の確立 ・国際関係の推移と近代産業の発展 ・近代の追及① 　現代に残る風習や民間信仰にかかわる題材から課題を設定して、情報の収集や調査をおこなう	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:欧米諸国の接近に伴う東アジア世界の秩序の動揺。開国に伴う政治・経済・文化の変化について関心をもって取り組めたか。 b:欧米諸国の接近と開国に伴う変化の歴史的意義について多面的に考察できたか。 c:課題を設定し、適切な情報の収集や調査をおこなったか。 d:幕末から近代国家確立までの日本の対外関係、政治体制・経済状況を理解できたか。	授業態度 課題提出 発表 定期考査

後期	両大戦をめぐる国際情勢	・第一次大戦と日本 民衆運動の盛り上がりと政党政治の展開・大衆文化の誕生。大戦後の民族運動の高まり。 ・第二次大戦と日本 世界恐慌の日本および各国のその対応策。 軍部の台頭 太平洋戦争への過程。 戦争中の国民生活の変化、他国、特にアジア諸国に与えた影響。 ・近代の追及③ 学校や地域の歴史に関係するものを課題に設定し、情報の収集や調査をおこなう。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a:両大戦間における世界的な民衆運動・民族運動の展開、世界恐慌などの経済的危機における各国の対応などについて意欲的に追求したか。 b:歴史的過程としてのこの時代の特色を多面的に考察し、公正に判断できたか。 c:身近な学校・地域におけるこの時代の歴史的資料を収集し、調査できたか。 d:ブロック経済・ファシズムの台頭など、民衆運動・民族運動などの歴史的な展開を理解しているか。	授業態度 課題提出 定期考査
	現代の日本と世界	・日本の再出発 連合国の占領政策 平和条約締結 ・独立後の政治と経済の発展 ・現代の日本と世界 経済の変化、冷戦終結後の国際情勢と国内体制の変化。 現在の諸課題と国際社会での役割、国内的な取り組み。 ・現代からの探求 現在の日本がかかえる諸課題を追求し、成果をまとめて発表する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:現代日本の特色が形作られてきた経過の探究について意欲的に取り組んだか。 b:現代日本が抱える諸課題を見出し、歴史的・多面的に考察し、公正に判断して発表できたか。 c:有用な資料を収集し、活用できたか。 ｄ：戦後の経済・政治の変遷、国際社会の変化に伴う日本の国際社会における役割を理解できたか。	授業態度 課題提出 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。